

令和5年度事業報告

社会福祉協議会では「住みやすく支え合いを実感できるまちづくり」を基本理念として掲げ、住みやすい環境で地域の人々がお互いに支え合い、誰もが生涯輝いて暮らせる地域を目指し活動をしてきました。

近年、少子・高齢社会の進展や人口減少、一人暮らし高齢者や高齢夫婦のみ世帯の増加などにより、家族形態の変容による家族内の見守りや介護機能の低下、地域連帯感の希薄化によるコミュニティの脆弱化が危惧されています。そういった中で、生活困窮、孤独死、消費者被害など地域からの孤立を起因とする様々な生活課題が現れ、問題が多様化、深刻化しています。相談窓口やサービスが用意されていても、自ら相談に赴いたり利用手続きを行うことが難しい人、問題そのものを認識していなかったり解決をあきらめてしまう人などもおり、支援に結び付かない事例も多く存在しています。

このように、従来の制度や法の枠組みの中では十分に対応できない制度の狭間への取り組みなど、災害時の活動も含めて社会福祉協議会の取り組むべき課題はますます増大しております。

住民同士のつながりの希薄化、地縁などの共同体機能の脆弱化により、自助、互助、共助、公助の役割の再確認が求められる中、必要になってくるのは地域課題を自分ごととして捉えそれぞれの立場で出来ることを考え行動する力、地域の支え合い活動やボランティア等担い手の確保や養成、活用等を一層進めていくことです。あわせて、それらをコーディネートする人材の重要性も高まっています。今まで同様、専門職等による多職種連携や他機関協働も必要ですが、日常生活圏域ごとに地域の多様な組織と連携して住民やボランティア等を含めた重層的な協働を進めることにより、住民一人ひとりが安心して暮らせるまちづくりにつながることを期待されています。

例えば、高齢になっても安心して暮らせる地域づくりについて協議をしている「地域支え合い協議体」では、市内8地区で地域住民が主体となり地域の関係団体等と連携をしながら地域で無理なく出来る支え合いについて協議しており、各地区で様々な取組が生まれ始めています。

社会福祉協議会は、そうした地域住民の地域福祉活動に対する支援や地域での生活支援実施に向けた相談・支援活動、情報提供や連絡調整を行っています。また、福祉サービスの横のつながり・連携が必要不可欠であり、公的な福祉サービスだけでは対応できない生活課題や、従来の縦割りの公的支援では対応しきれない課題については、藤岡市はもとより関係機関や関係団体等と緊密な連携を図り解決に向け取り組んでおります。第3次藤岡市地域福祉計画・地域福祉活動計画の最終年度であった令和5年度は、事業計画に定めた「広報・啓発活動への取組みについて」「ボランティアセンター運営について」「元気サポートセンターふじの花の事業運営について」を重点事業とし、以下の事業を実施いたしました。

1. 会員の状況

普通会員	19,512世帯
賛助会員	175世帯
特別賛助会員	360社

2. 理事会・評議員会等開催状況

理事会	4回	決議の省略 1回
評議員会	3回	
監査会	1回	
広報委員会	3回	
評議員選任・解任委員会	1回	

3. 広報活動

(1) 広報紙「ふじおか社協だより」の発行

地域福祉の推進と啓発を目的に、本会の各種事業や募集等の情報を掲載した広報誌を発行しました。A4 2色8ページの広報紙を5月・9月・1月の年3回にわたり、市内全戸及び特別賛助会員並びに関係機関に配布しました。また、タイムリーな情報を伝えるために「社協だより 臨時号」も年2回発行しました。

(2) ホームページ管理運営

事業計画及び事業報告並びに計算書類等の掲載の他、各種事業の募集等を広く市民に発信するために、本会ホームページの適切な管理運営に努めました。

(3) 公式SNSの管理運営

インスタグラム等のSNSを活用し、日々の活動の様子やイベント情報の周知・広報に努めました。

4. 指導・育成

①本会役職員の研修について

内部研修の他、他機関の研修会等への参加を通して資質の向上や知識の習得に努めました。

②実習生の受入れ

次世代を担う人材を育成するため、実習生の受入れを行いました。対象は藤岡市在住、在勤、在職者で、社会福祉士養成における相談援助実習等、資格や単位取得に向けた内容の他、学生の体験学習の受入れも行いました。

5. 地域福祉活動

心配ごと相談や結婚相談を定期的に行い、社会不安の解消や結婚活動の相談等に努めました。

事業名	開催日数	相談件数	紹介件数	成立件数
心配ごと相談事業	24日	25件	—	—
結婚相談事業	24日	76件	6件	0件

◇ 相続・遺言等に関する無料相談会

・群馬県行政書士会藤岡支部と協力して、専門的な相談に応じました。

相談件数	19件
------	-----

6. 善意銀行

市民の善意に基づく金品の寄付を受けました。

種類	件数	金額	摘要
一般寄付	18件	1,073,908円	
愛の募金	2件	22,041円	
物品	64件	—	米、タオル、介護用品、その他日用品等

7. 福祉関係団体助成

福祉関係団体等との連携を図り活動の推進に努めると共に、民生委員児童委員協議会、連合婦人会、子ども会育成会、保育園長会、支部社会福祉協議会に助成を行いました。

8. 収益事業

(1) 自動販売機清涼飲料水売り上げ代（元気サポートセンターふじの花設置）

・収益金 145,761円

9. 歳末たすけあい運動

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、毎戸100円以上のたすけあい募金をお願いしました。

地区名	令和4年度	令和5年度	前年対比
藤岡	452,200円	446,300円	△5,900円
神流	256,500円	254,200円	△2,300円
小野	381,000円	367,600円	△13,400円
美土里	224,000円	214,000円	△10,000円
美九里	161,700円	160,400円	△1,300円
平井	125,400円	123,600円	△1,800円
日野	51,300円	49,800円	△1,500円
鬼石	189,300円	182,350円	△6,950円
その他		2,992円	2,992円
合計	1,841,400円	1,801,242円	△40,158円

10. 各種援助活動

生活が困窮している社会的弱者を対象に、群馬県社会福祉協議会と連携のもと、相談支援や資金の貸付を行い安定した生活が送れるよう制度の推進に努めました。

(1) 貸付、給付事業

生活福祉資金貸付事業	申請件数	貸付額
総合支援資金（離職者支援資金含む）	2件	436,000円
福祉資金（福祉費）	1件	67,000円
〃（緊急小口資金）	3件	253,000円
教育支援資金	1件	348,000円
不動産担保型生活資金	0件	0円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0件	0円
臨時特例つなぎ資金	0件	0円
コロナ特例貸付 緊急小口資金	0件	0円

コロナ特例貸付 総合支援資金(延長含)	0件	0円
コロナ特例貸付 総合支援資金再延長	0件	0円
合計	7件	1,104,000円

独自制度	件数	貸付額
小口生活資金貸付事業	0件	0円
緊急時食料支援事業	0件	0円

(2) 災害見舞い

種別	件数	見舞金詳細	
災害見舞い	1件	全焼(全壊)	10,000円/1件につき 1件
		半焼(半壊)	5,000円/1件につき 1件
		死亡	10,000円/1人につき 1件

(3) 行旅者救済

種別	件数	金額	備考
行旅者救済	1件	300円	300円/1件につき

11. 日常生活自立支援事業

群馬県社会福祉協議会から「日常生活自立支援事業」の受託を受け、判断能力が不十分な方が安心して生活ができるよう、日常的な金銭管理や通帳預かり等の支援を行いました。また、適切な支援を行うことが出来るよう、生活支援員の資質向上に向けた研修会等を開催しました。

・実施状況

実利用者数	33人
延べ利用者数	378人
相談件数	674件
新規契約件数	6件

※新規契約内訳
認知症高齢者4件、精神障害者1件
知的障害者1件

・生活支援員数

登録数	延べ稼働時間	賃金
21人	493.5時間	1,000円/1時間

12. 生活困窮者自立支援事業

藤岡市より「生活困窮者自立支援事業」の委託を受け、就労の支援その他の自立に関する問題について生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行いました。

新規相談件数	相談支援事業申込件数	プラン作成件数	支援調整会議開催日数
169件	29件	38件	6回

・制服バンク事業

低所得者世帯を中心に、児童が安心して学習に取り組めるよう、就学支援の一環として、各家庭で不要になった制服を無償で提供していただき、必要とされる児童に活用していただくため「制服バンク事業」の実施を行いました。

13. 成年後見支援センター及び法人後見事業

高齢の方や障がいのある方の「生活」や「財産」に関する不安や困りごとについて、相談に応じ、成年後見制度が必要な方やそのご家族などに申立の説明や利用手続きの助言等を行いました。また、適切な後見人等がない方について本会の受任が適当と認められた場合は、後見人等の候補者をお受けし、家庭裁判所の審判が確定後、後見人等としてご本人の「身上保護」及び「財産管理」の支援を行いました。

成年後見支援センター	相談件数	22件
法人後見事業	申立支援件数	1件 受任件数 1件

14. 生活支援体制整備事業

藤岡市より「生活支援体制整備事業」の委託を受け、地域における支え合いの体制づくりの推進を目的として、各地区協議体や第一層に係わる会議の開催、協議体委員を対象とした研修会の開催等を行いました。

開催内容	開催数
各地区協議体（市内8地区）	46回
第1層分科会（第1～2分科会）	12回
第1層全体会	1回

- ・市民への啓発を目的として、地域で実施されている活動の紹介を各地区の生活支援コーディネーター及び事務局が作成しパネル展示を行いました。

展示期間 令和5年10月21日（土）

展示場所 市民ホール（第27回健康福祉祭）

展示内容 地域支え合い協議体の概要について、藤岡市地域支え合い協議体について、各地区地域支え合い協議体について等

- ・地域見守りサポーター出前講座 8回実施 121名参加

15. 総合相談窓口

総務課内に相談窓口を開設し、誰にも助けを求められずに、社会的に孤立している人や制度の狭間で支援を受けられない人などに対し、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が様々な生活課題を抱える世帯への相談支援を行いました。

- ・実施状況

開所日数	相談件数（延べ）	活動等件数
243日	新規相談件数70件（延べ268件）	139件

- ・実相談件数内訳

相談内容	件数	相談内容	件数
病気や健康・障害のことについて	16件	収入・生活費について	14件
家族との関係について	6件	衛生環境のことについて	1件
ひきこもり・不登校について	5件	地域との関係について	4件
住まいについて	4件	介護関連のことについて	5件
税金や公共料金等の支払について	1件	生活福祉資金について	3件
仕事上の不安やトラブル	1件	債務について	3件
子育てについて	0件	食料について	0件
DV・虐待について	0件	その他	7件

・コミュニティソーシャルワーカー活動内容（研修、会議、周知活動等）

各種研修・講演会等参加	研修会・講演会等に係る活動	自立相談支援事業支援調整会議	寄附等の繋ぎ
5回	4回	6回	11回
関係機関との協議・情報交換等	民児協定例会への参加	その他	
30回	79回	4回	

16. 高齢者自立センター事業

藤岡市より「高齢者自立センター」の受託を受け、何らかの介護予防支援が必要と認められた事業対象者及び要支援の高齢者を対象に通所サービス・訪問サービスを提供しました。

	事業名	実施日数	延べ利用者数
藤岡市高齢者自立センター藤岡	通所型A事業（1日）	149日	2,101人
	訪問型A事業	243日	520人
	通所型A事業（半日）	46日	439人
	通所型C事業	45日	201人
藤岡市高齢者自立センター鬼石	通所型A事業（1日）	146日	516人
	訪問型A事業	99日	131人
	通所型A事業（半日）	46日	238人
	通所型C事業	14日	57人

17. ミニデイサービス事業

藤岡市より「ミニデイサービス事業」の受託を受け、概ね75歳以上の高齢者を対象に市内70会場でミニデイサービスを開催し、地域で暮らす高齢者の介護予防に努めました。

延べ利用者数	3,839人
延べ実施回数	747回（1会場につき月1回開催）
会場数	70か所

18. 学童保育所運営事業

藤岡市より「みどの学童クラブ」の受託を受け、仕事などの事情で昼間保護者がいない家庭の児童を預かり、安心、安全な生活が送れるよう保育することに努めました。

開所日数	290日
登録児童数	39人

19. 元気サポートセンターふじの花運営事業

藤岡市から「元気サポートセンターふじの花」の指定管理事業を受託し、浴場の利用やレクリエーションの場等を提供して、市民福祉の向上に努めました。

開所日数	307日
延べ利用者数	70,941人（内・市民 60,805人 全体の85.7%）
健康相談	223件

20. ふれあい型食事サービス事業

住み慣れた地域で安心して暮らせることを目的とし、地域のボランティアを中心に70歳以上で近隣に子供のいない虚弱な高齢者等へ、食事を配達しながら安否確認を行いました。孤独感の解消を図るとともに、地域住民の福祉活動に対する意識を高め、近隣でのたすけあいの輪が広がりました。

実施地区	実施日数	延べ配食数	備考
藤岡地区	44日	1387食	月4回(第1～4木曜日)
鬼石地区	24日	222食	月2回(第2・4木曜日)

21. ボランティアセンター

総務課内に設置してある「ボランティアセンター」において、平日及び第一土曜日にボランティアに関する相談、ボランティア活動をしたい人とボランティアによる支援を希望する人とのマッチングを行いました。

積極的にボランティア活動をしている6団体に助成金を交付して、運営基盤の強化を図りました。また、ボランティア活動を安心して行えるように、ボランティア保険への加入を周知し、手続等の支援を行いました。

登録団体数	36団体
個人ボランティア登録数	32人

◇ 点訳奉仕者養成講座 体験コース 3日間 延べ参加者数 21人参加

22. 老人福祉車（手押し車）の一部購入補助事業

老人福祉の向上を目的に、高齢者の日常生活を支援するため、老人福祉車（手押し車）を購入する費用の一部を助成しました。

- ・補助台数 25台
- ・助成額 125,000円（1台につき5,000円を補助）

23. 福祉車両貸出事業

藤岡市より福祉車両貸出事業の委託を受け、介護を必要とする高齢者や障害者等に、車いすごと乗降可能な自動車を貸し出し、社会参加と生活圏の拡大を図ることを目的とした事業を行いました。

- ・貸出件数 71件

24. 福祉教育推進事業

児童・生徒が体験学習の機会を通じて、社会福祉への理解と関心を高めると共に、日常生活面での相互扶助、社会連帯が大切なことを認識してもらうため、高齢者疑似体験用具の貸出や福祉教育の推進を図りました。

市内8校の小学校にて福祉に関する講話及び高齢者疑似体験等を実施しました。また、市外の高校を含む5校に点訳ボランティアの講師派遣の調整を行いました。

25. 安心カード交付事業

緊急連絡先、かかりつけ医、服薬等の情報を記載したカードを冷蔵庫に保管しておくことで、緊急時や急変時に対応が出来る、安心・便利な「安心カード」の配布を行いました。この事業は平成24年度から、藤岡市民生児童委員協議会と共催で実施しています。

・累計配布状況

配布先	世帯数
65歳以上一人暮らし世帯	1,084世帯
障害者（児）のいる世帯	17世帯
その他の世帯	11世帯
合計	1,112世帯

26. 見守り支援推進事業

様々な生活課題が地域に山積している中、ひきこもりに焦点を絞り、ひきこもりの家族の方がリフレッシュ出来ることを目的としたサロンの実施、啓発を目的とした講演会の開催等を行いました。

・「ほっとサロン」実施状況

延べ開催数	12回
延べ参加者数	12名

27. 在宅福祉サービス

(1) 介護保険サービス

介護を必要とする高齢者が、居宅においてその人らしく生活できるよう支援を行いました。

サービス種別	営業日数	実施状況
居宅介護支援	246日	延べケアプラン作成数 1,417件

(2) 介護保険外サービス

小野地区・鬼石地区の独居高齢者の見守り及び居宅における介護等の相談を行いました。

サービス種別	開所日数	実施状況
在宅介護支援センター栗須	365日	延べ相談件数（訪問含む） 1,210件
在宅介護支援センター鬼石	365日	〃 1,076件

28. 障害福祉サービス事業所さくらの家の事業経営

障害福祉サービス事業所の指定を受け事業経営を行いました。

種別	開所日数	年間利用者数	登録人数	平均工賃（月額）
生活介護事業	241日	1,985人	8人	6,539円
就労継続支援B型事業	241日	2,774人	13人	17,970円